

情 報 公 開 文 書

研究の名称	磁気共鳴画像法(Magnetic Resonance Imaging)で得られた脳画像と臨床評価尺度のデータベース構築と多施設による共同運用
整理番号	I2019100
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学附属病院 神経精神科 助教 笹林大樹
研究の概要	<p>【研究対象者】</p> <p>① 富山大学附属病院神経精神科へ入院・通院したことがある患者様で、過去に当科で行った研究に参加され、研究の目的で頭部磁気共鳴画像検査(MRI)を受けた方。</p> <p>② 過去に富山大学附属病院神経精神科で行った研究に参加され、研究の目的で頭部 MRI 検査を受けた方。</p> <p>【研究の目的・意義】</p> <p>精神疾患の原因解明や、効果の高い新しい治療法の開発を目指した研究では、脳画像や血液 DNA などの研究資源が大きな役割を担っています。しかし、個別の研究グループが、これらのリソースを短期間に多数収集することは容易ではありません。</p> <p>近年、精神医学分野の研究に真の飛躍をもたらすためには、このような研究リソースを今まで以上に充実させ、画一的に品質管理し、複数の研究機関で相互運用することが重要との認識が広まりつつあります。さらには、ヒトの精神疾患に関する研究の際に、他の霊長類のデータとの比較が重要であることが、認識されつつあります。</p> <p style="text-align: right;">本</p> <p>研究では、その第一歩として、磁気共鳴画像装置(MRI)で撮像されたヒトおよび霊長類(マカク・マモセット)の脳画像とこれに付随する臨床情報を多数例収集したデータベースを構築し、今後、精神疾患に関して大規模な病態解明研究を創出・推進するために基盤整備を行うことを目指しています。</p> <p>本研究を通して蓄積されたデータリソースは、個人情報保護に十分留意しながら、外部機関が運営するデータベースに登録され、専門委員会による審査と使用承認を得た研究者間で共有されます。これらのデータベースが有効に活かされるよう、様々な専門家と連携しつつ、データの品質管理や解析環境・方法論等の標準化を目指しています。</p> <p>【研究の方法】</p> <p>過去に当科で行った研究で撮像した頭部 MRI 画像を本研究に二次的に利用させていただきます。また MRI 検査の前後に記録した、以下の身体的・精神的状態を把握するための臨床指標や試料も利用いたします。</p> <p>①年齢②性別③利き手④教育年数⑤Comprehensive Assessment of At Risk Mental States(CAARMS、こころのリスクの調査)⑥陰性・陽性症状評価尺度(SANS/SAPS、PANSS) ⑦状態・特性不安検査(STAI) ⑧統合失調症認知機能簡易評価尺度日本語版(BACS-J)(認知機能の評価) ⑨知的機能の簡易評価(JART)⑩血液検体(遺伝子情報を含む)など。</p> <p>更なる大規模解析を行うため、脳画像から得られた測定値および付随する臨床データは国際コンソーシアム(ENIGMA Schizophrenia)にも提供させていただきます。</p> <p>なお、本検査を通して得られたデータは、個人情報が速やかに匿名化された後、厳重に管理下において研究に活用されます。</p> <p>【研究期間】</p>

	<p>2019年8月27日～2029年6月20日まで。</p> <p>【研究結果の公表の方法】</p> <p>研究成果は、個人情報等を特定できないようにした上で、学会や学術雑誌やホームページ等で公表する予定です。</p>
<p>研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)</p>	<p>共同研究機関の間でMRI画像と上記の臨床指標のデータを共有いたします。共同研究機関にデータを提供する場合には、匿名化した情報を、パスワードをかけた電子ファイルを用いて電子的配信等の方法で提供します。対応表は、研究責任者が保管・管理します。</p>
<p>研究に用いる試料・情報を利用する機関</p>	<p>担当業務：データ収集・匿名化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療法人社団豊智会・八重洲クリニック ○東京大学進化認知科学研究センター ○東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構 <p>担当業務：データ管理・解析プロトコルの標準化、ならびにデータ解析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○順天堂大学医学部放射線医学講座 ○昭和大学医学部精神医学教室 ○富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学 ○日本医科大学精神医学教室 ○筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学 ○国立精神・神経医療研究センター病院 <p>担当業務:データ解析(匿名化された資料の解析が行われる場所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○科学技術振興機構バイオサイエンスデータベースセンター ○岩手医科大学歯薬総合研究所超高磁場MRI診断・病態研究部門 ○首都大学東京大学院人文科学研究科人間科学専攻言語科学分野 ○京都大学大学院工学研究科電気工学専攻生体医工学講座 ○京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室 ○京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 ○広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門・精神神経医科学 ○大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科、同・精神医学教室 ○大阪大学社会経済研究所 ○バイオテクノロジー開発技術研究組合 ○ATR脳情報通信総合研究所 ○ATR認知機構研究所 ○情報通信研究機構 ○東京大学保健センター精神科 ○東京大学総合文化研究科生命環境科学系認知行動科学 ○放射線医学総合研究所 ○COCORO(認知ゲノム共同研究機構)参画機関 ○理化学研究所脳科学総合研究センター ○名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野 ○名古屋大学大学院医学系研究科脳神経病態制御学神経内科学 ○玉川大学脳科学研究所 ○生理学研究所 ○京都大学情報学研究科システム科学専攻論理生命学分野 ○慶應義塾大学医学部生理学 ○慶應義塾大学医学部精神神経科学 ○脳情報通信融合研究センター ○株式会社9DW ○ユトレヒト大学医療センター精神科 ○京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座臨床神経学 ○順天堂大学医学部脳神経内科

	<ul style="list-style-type: none"> ○大阪大学大学院医学系研究科神経内科 ○東京大学医学部附属病院放射線科 ○東京大学医学部附属病院整形外科 ○東京大学生産技術研究所 ○大阪大学医学部附属病院整形外科 ○理化学研究所生命機能科学センター ○九州大学大学院医学研究院精神病態医学 ○東北大学大学院医学系研究科精神神経学 ○ソウル大学病院神経精神科 ○ACMP (アジア精神病 MRI 研究協議会)参画機関 ○ENIGMA Schizophrenia 参画機関 ○Psy-ShareD 参画機関 ○GSCAN 参画機関 ○ベルン大学精神科病院 ○ブリストル大学工学数学部 ○全北大学病院精神科 ○上海交通大学医学院精神保健センター ○四川大学華西 MR 研究センター ○成功大学病院精神科 ○東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構
研究資料の開示	<p>研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。</p>
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	<p>東京大学国際高等研究所 ニューロインテリジェンス国際研究機構 岡田直大</p>
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7323 FAX 076-434-5030 E-mail ds179@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院神経精神科 笹林大樹</p>